

## 杉谷神社式年造営奉賛趣意書

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は当杉谷神社の祭典・歳事をはじめ諸事業につきまして、格別のご高配とご厚志を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、氏子の皆さま並びに崇敬者の皆さまには、常日頃より心の拠り所として親しまれ尊崇されております杉谷神社は、古くは中世名張郡最大の豪族大江氏の氏神を祀る神社として平安時代より存在していたと伝えられ、その後慶長十七年（一六一二年）に再建され、四百余年の歴史を持つ桃山様式を象徴する極めて価値ある造りとして今日まで保存継承され、そのため建造物では名張市内で唯一三重県の有形文化財に指定されております。

顧みれば、平成十四年三月の当杉谷神社式年造営の際には、皆さまから多大なるご奉賛を得て式典行事を執り行い早や二十年近くが経過し、いよいよ令和四年に改めて式年造営を迎えることと相成りました。

私共地元氏子と致しましては、二十年に一度の御造営の栄に巡り合った事に深く喜び、来る令和四年十月二十二日催行の式典行事並びに奉祝祭が無事円滑に執り行われるよう奉賛の誠を捧げる所存でございます。

この度、由緒ある杉谷神社の式年造営を迎えるに当たり、平成三十一年四月に地元関係者をもって「杉谷神社式年造営委員会」を結成し、その事業の完遂に向けて奉仕することとなり、日々準備を進めているところでございます。

今回の造営事業の計画内容と致しましては、間近に控える式年造営の機会を捉え、現在、三重県及び名張市からのご支援を受け、本殿の建物調査（建物の診断及び細部図化）及び彩色調査（再建当初の着色解明）を計画的に実施しており、その調査過程において床や壁の板材の一部損傷が見られるほか、拝殿及び社務所の雨漏りが生じている現状を踏まえ、文化財指定の本殿をはじめ各神社施設に相応しい保存修復工事に取り組むことにより、次世代に引き継がれていくものと確信し諸事業を進めております。しかしながらこうした神域の整備を実施するには多額の資金が必要と考えております。

ご承知の通り、現在の社会、経済情勢は非常に厳しい状況下にあり、氏子の皆さま並びに崇敬者の皆さま方にご奉賛をお願いしなければ到底この事業は成し得ないものと、関係者一同心痛しているところでございます。

つきましては、日頃より郷土を愛され、重ねて敬神の念厚い皆さまにおかれましては、本事業の趣旨にご賛同いただき、何卒、絶大なご援助ご奉賛を賜りますようお願い申し上げます。

敬白

令和三年四月吉日

三重県名張市大屋戸六十二番地

杉谷神社

宮司

中野昇

式年造営委員長

筒井公治

委員一同

各位